

探究科学科県内企業施設研修報告（1）

◇期 日：令和7年10月17日（金）

◇場 所：株式会社樹田酒造店（富山市東岩瀬町）

株式会社スギノマシン（滑川市栗山）

◇参加者：第1学年探究科学科15H生徒41名

10月17日、私たち1学年探究科学科は県内企業施設研修を行った。株式会社スギノマシン、株式会社樹田酒造店を訪問し、仕事の様子を見学したり、さまざまな仕事内容を学んだりした。生徒たちは各訪問先の方々に意欲に質問し、自分の将来の仕事について考えるよい機会となった。

15Hは、初めに株式会社スギノマシンを訪問した。企業には大きく2つの部類があり、消費者に対し商品やサービスを提供している企業はBtoC、そのような企業に製品を提供しているのは株式会社スギノマシンを含む、BtoBの企業である。社会の大半はBtoBの企業であり、表には見えないかもしれないが社会を支えている重要な企業が多数存在することを教えていただいた。この話に始まり、まず私たちは杉野岳社長の講義を通して、スギノマシンでの仕事内容とその機会が活用されている場所を学んだ。また、スギノマシンという機械製造会社一つ取ってもその中にお客様企業から依頼を受ける人や材料を注文する人など、多くの種類の仕事内容があるそうだ。文系だから理系の企業には就職できないなんてことはないと聞いて、将来の仕事を考える幅が広くなった。



次に、株式会社樹田酒造店を訪問した。樹田隆一郎社長から、酒造だけでなく、岩瀬のまちづくり、地域貢献についても聞くことができた。日本酒の魅力を広めるため、岩瀬の歴史的景観を取り戻すため、町中のお店などを改築し、お酒が飲める飲食店などを造る活動をしていらっしゃるそうだ。岩瀬の町を案内していただきながら巡り歩き、人の温かさや素敵なか並みに触れた。安定した会社員ではなく樹田社長だからこそ持っている行動力の高さが、自分の生きるヒントにもなると感じた。



今回の企業訪問を通して、働き方はほんとうに多彩であることを学び、将来の仕事について改めて熟考しようと思った。

